

三井化学岩国大竹工場 火災の原因は・・・ - 西日本防災システム

2013 09 03

8月22日三井化学岩国大竹工場で発生した倉庫火災について、三井化学生産・技術本部長と工場長が9月2日、記者会見を開き、火災の原因は社員の人為的なミスだったと発表したそうです。触媒容器の交換作業の際、バルブを閉め忘れ、手順も誤っていたそうです。

同社の説明によりますと、火災は8月22日午前11時頃、空気中で自然発火する液体触媒「トリエチルアルミニウム」の容器を配管から切り離す作業中に発生したそうです。作業の班長ら4人が配管と容器を遮断するバルブを閉め忘れていたようです。さらに、圧力を一定に保つ装置のバルブ2カ所を手順に反して、切り離す前に閉めたそうです。

その結果、容器内の圧力が高まり、閉め忘れたバルブを通った液体触媒が配管の継ぎ手のボルトを緩めた際に漏れ出し、自然発火したようです。作業を行った4人は作業前に手順を確認していなかったそうです。さらに携帯した作業チェックリストも使用しなかったようです。

昨年のプラント爆発炎上事故からわずか1年でこのような火災事故が再発したことは、私達はどう受け止めればいいのでしょうか。それも・・・忘れが原因とは。

2012年4月の火災 →
2013年8月の火災 →



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ →